

港区図書館サービス推進計画（令和3年度～令和8年度）
の進捗について

報告内容

港区立図書館サービス推進計画（令和3年度～令和8年度）に掲載している事業の進捗状況（令和6年度末時点）を報告します。

1 図書館サービス推進計画に掲載している事業数

43事業

※事業名等の詳細は別紙1のとおり

2 各事業の進捗

進捗管理票（別紙2及び参考資料）のとおり

（1）年次計画・成果指標を記載している事業（別紙2）

取組の年次計画及び成果指標を掲載している事業について、令和6年度末における進捗を記載しています。

なお、事業の取組や成果の進捗は以下の区分で示しています。

- a：後期3年間の目標を上回って達成する見込みである。
b：後期3年間の目標に到達する見込みである。
c：後期3年間の目標に到達するには、改善が必要である。
－：指標値を把握できない。

《進捗状況別事業数一覧》

進捗状況	a	b	c	－	計
事業数	1	2	0		3

（2）その他の事業（参考資料）

年次計画・成果指標を記載していない事業（別紙2以外の事業）について、令和6年度末における進捗を記載しています。

基本目標1 あらゆる人々の学びを支える資料や環境の充実とサービスの提供

施策	重点 新規	事業名	計画書 掲載頁	担当課	進捗管理票 記 載 頁
(1)図書館資料 の充実	－	① 多様な方法による資料の提供	40	図書文化財課	参考資料-1
	－	② 郷土・行政資料の充実	41	図書文化財課	参考資料-1
	－	③ 外国語資料の収集と活用	41	図書文化財課	参考資料-1
	重点	④ あらゆる人の学びを支える幅広い資料の収集	41	図書文化財課	別紙2-1
(2)利用者同士の 交流の場の提供	－	① 利用者同士が交流できるスペースの工夫	42	図書文化財課	参考資料-1
	－	② 利用者同士の交流の機会となる事業の実施	42	図書文化財課	参考資料-1
(3)図書館利用 における利便性 の向上	－	① 資料の受取及び返却方法の拡充	43	図書文化財課	参考資料-1
	－	② 閲覧スペースの充実と座席予約システムの拡充	43	図書文化財課	参考資料-1
	新規	③ ICTを活用した利便性の向上	43	図書文化財課	参考資料-1

基本目標2 子どもから成人に至るステップに応じた読書活動の推進

施策	重点 新規	事業名	計画書 掲載頁	担当課	進捗管理票 記 載 頁
(1)本とふれあ う環境づくり	－	① ブックスタートの推進	44	図書文化財課	参考資料-1
	新規	② 絵本貸出定期便の実施	44	図書文化財課	参考資料-2
	－	③ 年齢に応じた図書の推薦	44	図書文化財課	参考資料-2
		④ 親子で楽しむ取組の推進	45	図書文化財課	参考資料-2
	－	⑤ 小学生・中学生・高校生の各年代を対象にした取組の推進	45	図書文化財課	参考資料-2
	－	⑥ 異なる年齢の子どもたちの本を通じた交流の促進	45	図書文化財課	参考資料-2
		⑦ 子どもたちが居心地よく過ごすための環境づくり	45	図書文化財課	参考資料-2
	－	⑧ インターネットを活用した事業の実施	45	図書文化財課	参考資料-2
(2)豊かな国際 性を生かした取 組の推進	－	① 外国語資料を用いた読み聞かせの実施	47	図書文化財課	参考資料-2
	－	② 国際理解・異文化理解の取組の推進	47	図書文化財課	参考資料-2

基本目標3 あらゆる人々が読書を楽しむための利便性の向上

施策	重点 新規	事業名	計画書 掲載頁	担当課	進捗管理票 記 載 頁
(1)多様な利用 者に対する支援	重点	① 電子書籍サービスの活用	48	図書文化財課	別紙2-1
	－	② 区の資料のデジタル化と港区電子図書館での公開	48	図書文化財課	参考資料-3
	－	③ 来館困難な利用者への資料提供	49	図書文化財課	参考資料-3
	－	④ 図書館利用に障害のある方への読書支援	49	図書文化財課	参考資料-3
	－	⑤ 福祉施設や医療機関への団体貸出の利用促進	49	図書文化財課	参考資料-3
	－	⑥ 図書館利用のアクセシビリティの向上	49	図書文化財課	参考資料-3

施策	重点 新規	事業名	計画書 掲載頁	担当課	進捗管理票 記 載 頁
(2)資料を活用した 多様な学びの促進	－	① ビジネス支援のための情報提供の充実	50	図書文化財課	参考資料-3
	－	② レファレンスサービス（調べもの相談）の充実	50	図書文化財課	参考資料-4
	－	③ 講座・講演会などの実施	50	図書文化財課	参考資料-4
	－	④ 資料を活用した展示の実施	51	図書文化財課	参考資料-4
(3)図書館の魅力 や有用性を伝える 広報の充実	－	① 図書館の魅力や有用性を伝える広報活動の強化	52	図書文化財課	参考資料-4
	－	② ICTの活用による情報発信の充実	52	図書文化財課	参考資料-4

基本目標4 多様な主体との連携による図書館資料の活用と事業の展開

施策	重点 新規	事業名	計画書 掲載頁	担当課	進捗管理票 記 載 頁
(1)学校図書館 の支援推進	－	① 学校図書館との情報交換の促進	53	図書文化財課	参考資料-4
	重点	② 調べ学習の支援	53	図書文化財課	別紙2-2
	－	③ 授業カリキュラムに応じた支援の実施	54	図書文化財課	参考資料-4
	－	④ 障害に対応した読書支援	54	図書文化財課	参考資料-4
(2)社会教育施設等 との連携の推進	－	① 専門図書館・大学図書館とのネットワーク化の推進	55	図書文化財課	参考資料-5
	－	② 幼稚園・保育園等の子ども関連施設等への支援	55	図書文化財課	参考資料-5
	－	③ 郷土歴史館・みなと科学館との連携事業の実施	55	図書文化財課	参考資料-5
	－	④ 地域活動との連携の推進	55	図書文化財課	参考資料-5
	－	⑤ 大使館との連携事業の実施	56	図書文化財課	参考資料-5
		⑥ 企業等との連携の推進	56	図書文化財課	参考資料-5
(3)区民の知識 やスキルを生かした 事業の展開	－	① ボランティアの育成	57	図書文化財課	参考資料-5
	－	② 区民の知識や能力を生かした図書館サービスの展開	57	図書文化財課	参考資料-5

<進捗状況の区分>
a:後期3年間の目標を上回って達成する見込みである。
b:後期3年間の目標に到達する見込みである。
c:後期3年間の目標に到達するには、改善が必要である。

No.(基本目標－施策－事業)		掲載ページ	重点	新規	事業名	あらゆる人の学びを支える幅広い資料の収集	担当課	図書文化財課
1－(1)－④		41	○					

事業・取組の内容		質・量ともにバランスが取れた蔵書構成を図りながら、時代とともに変化するニーズに対応した体系的で幅広い資料の収集を進める。 地域の特性を踏まえた個性ある蔵書の実現に取り組む。							進捗状況
									b

			前期	後期3年間			実績の評価(令和6年度)	事業の課題や改善が必要な事項
			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
取組目標	所蔵資料数	年次計画	1,330,000	1,345,000	1,360,000	1,375,000	令和6年4月から台場区民センター図書室から台場図書館の移行に伴い、所蔵は計画を上回り、約1.03倍(約49,000冊)増加した。	蔵書満足度を向上させるため、区民等の多様なニーズを考慮しながら、幅広い視点でビジネス関係の専門書をはじめ、多岐にわたる分野の資料をバランスよく選定し、魅力ある資料構成を目指す。
		実績	1,333,888	1,382,480				
成果指標①	蔵書に満足している利用者の割合	指標①	85%	86%	88%	90%	所蔵資料数は計画を上回ったものの、蔵書満足度は前年度より5ポイント低下した。来館者アンケートの結果では「ビジネス関係の専門書」及び「文庫本」の増刷の要望があった。	今後の取組
		実績	83%	78%				各館で地域の特性を踏まえた分野ごとの重点収集を定めており、三田図書館を中心に、ビジネス関係の専門書の拡充を図り、利用者の満足度向上に取り組んでいく。
成果指標②	－	指標②	－	－	－	－		
		実績	－	－	－	－		
成果指標③	－	指標③	－	－	－	－		
		実績	－	－	－	－		

No.(基本目標－施策－事業)		掲載ページ	重点	新規	事業名	電子書籍サービスの活用	担当課	図書文化財課
3-(1)-①		48	○					

事業・取組の内容		電子書籍が効果的に活用されるように、貸出状況を分析してタイトル数を増加させる。							進捗状況
									b

			前期	後期3年間			実績の評価(令和6年度)	事業の課題や改善が必要な事項
			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
取組目標	電子書籍所蔵タイトル数	年次計画	7,500	8,000	9,000	10,000	電子書籍所蔵タイトル数は、計画をやや下回ったものの、約1.2倍(約1,200点)増加した。令和6年度から新たに電子雑誌の閲覧サービスを開始した。(雑誌281冊) また、港区電子図書館のホームページに区立小・中学校(統廃合含む。)の校歌の音源の掲載を進め、著作権等の許諾を得た35校の校歌を掲載した。	来館者アンケートでは、今後充実してほしい電子資料として、実用書47.5%(家庭、ビジネス、旅行ガイド等)、小説・エッセイ36.8%と要望が多い。要望を踏まえ、所蔵タイトルを増やしていく。
		実績	6,691	7,885				
成果指標①	電子書籍貸出数	指標①	25,000	30,000	35,000	40,000	電子書籍貸出数は指標を上回り、約1.9倍(約21,000点)増加した。電子雑誌の閲覧サービスを開始に当たり、チラシや葉タイプの啓発カードを作成するなどサービスの周知を図った。	今後の取組
		実績	24,190	45,267				令和6年度の来館者アンケートでは、電子書籍サービスの認知度は67.9%(前年度58.9%)と上昇している。 電子書籍が効果的に活用されるよう、来館者アンケートや貸出状況を分析することで、利用者のニーズに合った電子書籍を購入しコンテンツを充実させる。
成果指標②	－	指標②	－	－	－	－		
		実績	－	－	－	－		
成果指標③	－	指標③	－	－	－	－		
		実績	－	－	－	－		

No.(基本目標－施策－事業)		掲載ページ	重点	新規	事業名	調べ学習の支援				担当課	図書文化財課	
4－(1)－②		53	○									
事業・取組の内容			児童・生徒が自主的に調べることができるよう、図書館職員による出張講座等により調べ学習を支援する。 調べ学習の成果を発表する場としてコンクールを開催する。									進捗状況
												a
			前期	後期3年間				実績の評価(令和6年度)	事業の課題や改善が必要な事項			
			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度						
取組目標	調べ学習講座開催回数	年次計画	50	70	72	74	調べ学習講座開催回数は計画を上回り、約1.3倍(21回)増加した。学校授業の1単位を使って、図書館司書が調べる学習の方法、コンクール作品の書き方ポイントなどを教える授業を実施した。	小学生・中学生が、図書館の本、インターネット等を使用し、日常生活又は学習上の疑問点を解決する力を培えるよう、校園長会を通じて、調べる学習コンクールの目的や、学校への出張講座の利用について説明し、積極的な参加を呼び掛ける。				
		実績	68	89								
成果指標①	「港区図書館を使った調べる学習コンクール」応募作品数	指標①	1,200	1,200	1,350	1,500	応募作品数は指標を上回り、約1.7倍(671点)増加した。 学校における講座回数を増やしたことにより、コンクールへの興味を醸成し、応募作品数の増加につながった。	今後の取組				
		実績	982	1,653				小学生・中学生が図書館等を利用して、自主的に調べ、学ぶ力を培うため、図書館司書による区立学校への講座を継続するとともに、私立学校への積極的な働きかけを実施する。				
成果指標②	－	指標②	－	－	－	－						
		実績	－	－	－	－						
成果指標③	－	指標③	－	－	－	－						
		実績	－	－	－	－						

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	令和6年度の評価 と事業の課題	今後の取組
							令和6年度	令和7年度	令和8年度			
1-(1)-①	40	-	-	多様な方法による資料の提供	図書文化財課	新たな資料提供の方法の導入について検討	4月より、電子雑誌閲覧サービスの開始			—	新たなサービスの導入により、利用者の選択肢が拡大した。	より目に留まるよう改善したチラシ及びSNSを活用し、積極的に事業を周知して利用者の増加を図る。
1-(1)-②	41	-	-	郷土・行政資料の充実	図書文化財課	郷土資料・行政資料の収集及び活用	郷土歴史館と連携し、郷土資料及び各館への掲示等を実施した。			—	郷土歴史館職員と連携し、資料の掲示等を工夫し実施	各館においても積極的に資料収集するとともに、資料を活用した展示を実施する。
1-(1)-③	41	-	-	外国語資料の収集と活用	図書文化財課	外国語資料の収集及び活用	多様な言語の外国語資料を収集し、定期的に英語お話を実施			—	各館において定期的に英語おはなし会を実施	引き続き、多様な言語の資料収集を行い、外国語資料等による学習機会を提供する。
1-(2)-①	42	-	-	利用者同士が交流できるスペースの工夫	図書文化財課	利用者が交流しながら利用できる環境の検討	台場図書館に子どもの読み聞かせスペースを設置			—	読み聞かせスペースの設置により、交流の場を提供することができた。	他館において、既存の環境で交流の場を確保できるか検討していく。
1-(2)-②	42	-	-	利用者同士の交流の機会となる事業の実施	図書文化財課	図書館でのコミュニティづくりの促進	おはなし会や講座を実施			—	おはなし会や講座を実施し、利用者同士の交流機会を提供した。	利用者同士の交流を促進し、コミュニティづくりを進める。
1-(3)-①	43	-	-	資料の受取及び返却方法の拡充	図書文化財課	貸出返却ができる区有施設及びブックポスト増設の検討	利用者の利便性向上のため、区有施設にブックポストを6台増設した。			—	6年ぶりに設置したことで、利用者の利便性の向上に寄与した。	更なる利便性向上のため、令和7年度にブックポストを2か所に増設する。
1-(3)-②	43	-	-	閲覧スペースの充実と座席予約システムの拡充	図書文化財課	三田図書館に座席予約システムを導入し他館への導入について検討する。	・他館への導入を検討 ・三田図書館で座席予約システムの利用継続			—	三田図書館での利用状況を参考に、他館への導入を検討	各館において、既存の施設を活用した座席予約が可能か引き続き、検討する。
1-(3)-③	43	-	○	ICTを活用した利便性の向上	図書文化財課	令和6年度に更新予定の新たな図書館システムで、図書館カードのカードレス化に対応	5月より、図書館カードのカードレス化に対応し、スマートフォンでのバーコード表示により図書館資料の貸出を可能にした。			—	図書館カードのカードレス化に伴い、利用者の利便性が向上した。	ICTの活用を推進するとともに、次期図書館システム更新に向け、新たな機能の追加を検討する。
2-(1)-①	44	-	-	ブックスタートの推進	図書文化財課	0歳児と保護者を対象としたブックスタート事業の推進	・新たに病院にチラシを設置し、周知を図った。 ・ブックスタート事業の継続			—	引き続き、周知先の拡充を図る。	引き続き、周知先を拡充しブックスタート事業を実施する。

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	令和6年度の評価 と事業の課題	今後の取組
							令和6年度	令和7年度	令和8年度			
2-(1)-②	44	-	○	絵本貸出定期便 の実施	図書文化 財課	家庭での読書環境を整え、子ども が様々な絵本に日常的に親しめる 取組を推進	6月より、乳幼児を対象 に、年齢に応じた絵本3 冊を毎月無償で届ける 絵本貸出定期便を開始 した。			—	6月の事業開始時 は約200名の利用 があり、3月には、 約950名の利用が あった。	SNSなどを活用し、積極的に 事業を周知して利用者の増加 を図る。
2-(1)-③	44	-	-	年齢に応じた図 書の推薦	図書文化 財課	区立図書館が勧めるブックリスト の作成・配布	年代別のおすすめ本リ スト(リーフレット・ホー ムページ)を作成し、学 校等に配布			—	リーフレットをより 見やすくすることで 子どもの本選びや 調べ学習を推進し た。	リーフレット作成にあたり、子 どもに人気のキャラクターを 使用するなど、効果的な取り 組みを行う。
2-(1)-④	45	-	-	親子で楽しむ取 組の推進	図書文化 財課	おはなし会、人形劇、音楽会、工 作会など、子どもが保護者と楽し むプログラムを実施	絵本作家とのライブ講 座の実施。おはなし会、 人形劇等は引き続き実 施。 工作会は、季節に合わ せた催し物を実施			—	当日キャンセルが2 割程度発生する。	・当日キャンセルについては、 館内放送等により参加者を募 るなど対応する。 ・保護者向けアンケートを実 施し、プログラムに反映させ る。
2-(1)-⑤	45	-	-	小学生・中学 生・高校生の各 年代を対象にし た取組の推進	図書文化 財課	・小学生を対象におはなし会や体験 型学習講座の実施 ・中高校生を対象に、書評合戦や SNSを活用した発信、懇談会の開催	・小学生向けおはなし会 を実施するとともに、さ まざまな体験学習講座 を実施 ・中高生書評合戦や中 高生懇談会を実施			—	各年代を対象にし た事業の実施によ り、読書活動の支援 を推進した。	・引き続き、各年代が参加しや すいように事業を実施してい く。 ・小中高生向けアンケーを実施し、事業に反映させる。
2-(1)-⑥	45	-	-	異なる年齢の子 どもたちの本を 通じた交流の促 進	図書文化 財課	幅広い年齢層が参加しやすい事業 を実施することで子どもたちの交 流を促進する。	こども読書週間、読書 週間、夏休みなどに、幅 広い年代が参加できる 多様な講座を実施			—	幅広い年齢層の子 ども向けの多様な 講座を実施した。	本を通じた子どもたちの交流 を促進し、幅広い年齢層が参 加しやすい事業を実施してい く。
2-(1)-⑦	45	-	-	子どもたちが居 心地よく過ごす ための環境づく り	図書文化 財課	全ての区立図書館で、子どもたち が安心して過ごすことのできる居 場所を提供していく。	子どもを対象とした高 輪図書館分室や、三田、 麻布図書館の子ども向 け専用フロアの活用を 継続			—	子どもが安心して 過ごせる居場所を 提供した。	既存の施設で子どもの居場 所が確保できるか検討してい く。
2-(1)-⑧	45	-	-	インターネット を活用した事業 の実施	図書文化 財課	図書館に来館しなくても参加でき るよう、インターネットを活用し た事業の実施	オンラインにより、三田 図書館において、他区 (新宿区、江東区)との 連携によるビジネス講 座の実施			—	講師の来館の有無 により、参加者の差 異がある。	集客につながる仕組みや、自 宅にいても受講できるような オンライン配信の検討
2-(2)-①	47	-	-	外国語資料を用 いた読み聞かせ の実施	図書文化 財課	外国語資料を用いたおはなし会の 実施	英語によるおはなし会 の実施			—	外国語資料を活用 し異文化に触れる 機会を提供した。	引き続き、多様な言語の資料 収集を行い、外国語資料等 による学習機会を提供する。
2-(2)-②	47	-	-	国際理解・異文 化理解の取組の 推進	図書文化 財課	国際理解・異文化理解につながる 資料の収集及び活用	社会情勢及び外国の文 化や日本の文化にふれ るための資料を収集す るとともに、展示等を 実施			—	資料や展示を通じ て、国際理解や異文 化理解の一助とす ることができた。	引き続き、資料や展示を通じ て国際理解、異文化理解を推 進する。

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	令和6年度の評価 と事業の課題	今後の取組
							令和6年度	令和7年度	令和8年度			
3-(1)-②	48	-	-	区の資料のデジタル化と港区電子図書館での公開	図書文化財課	郷土資料及び行政資料のデジタル化	港区立幼稚園・小中学校の園・校歌(音源・歌詞)を35校分公開			—	電子図書館での公開を推進した。	引き続き、電子図書館における公開を進め、行政資料のデジタル化を推進する。
3-(1)-③	49	-	-	来館困難な利用者への資料提供	図書文化財課	図書館所蔵の本や雑誌を届ける宅配サービスの実施	令和6年度より電子申請を開始し、月に20件程度の申請			—	令和6年度より電子申請を開始し、利用を促進することができた。	引き続き、宅配サービスの周知に努め、必要な人に届けられるよう努める。
3-(1)-④	49	-	-	図書館利用に障害のある方への読書支援	図書文化財課	拡大読書器の提供や音訳ボランティアによる支援	拡大読書器の設置及び視覚障害者に対する対面朗読の実施			—	対面朗読の依頼は増加している。	引き続き、障害のある方への読書支援を実施する。
3-(1)-⑤	49	-	-	福祉施設や医療機関への団体貸出の利用促進	図書文化財課	対象となる施設・機関への周知活動	医療施設等との連携による講座等で事業の周知を実施			—	みなと保健所や医療施設との連携により周知が実施できた。	医療機関や社会福祉協議会等との連携による事業の周知
3-(1)-⑥	49	-	-	図書館利用のアクセシビリティの向上	図書文化財課	施設のバリアフリー化の実施	シティハイツ港南(港南図書館)の大規模改修実施設計に着手した。			—	シティハイツ港南(港南図書館)の大規模改修に合わせたバリアフリー化の推進	施設の改修等に合わせたバリアフリー化を推進する。
					図書文化財課	図書館利用に障害のある人々の利用拡大	三田図書館において、手話おはなし会や手話通訳者の配置による事業の実施			—	スクリーンに手話通訳者を投影するなど誰もが見やすい工夫をした。	各館において障害者向け利用拡大の検討
3-(2)-①	50	-	-	ビジネス支援のための情報提供の充実	図書文化財課	ビジネスに関する資料収集及び活用	三田図書館をビジネス支援図書の重点収集館と定め、収集、講座を実施			—	資料の収集や講座の実施及び企業・市場情報データベースや業界紙を提供した。	引き続き、ビジネス資料の収集、講座の開催など、産業振興センターと連携した事業を実施する。
					図書文化財課	三田図書館でレファレンスコーナーの運用	・企業・市場情報データベースの提供 ・ビジネス専用レファレンスカウンターの運用を継続			—		

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	令和6年度の評価 と事業の課題	今後の取組
							令和6年度	令和7年度	令和8年度			
3-(2)-②	50	-	-	レファレンス サービス（調べ もの相談）の充 実	図書文化 財課	利用者の課題解決を支援するレ ファレンスサービスを、新たに図 書館ホームページでも実施	5月から図書館ホーム ページでレファレンス サービスの受付を開始			—	レファレンスサービ スを開始するとと もに、国立国会図書 館レファレンス協同 サービスに参加し、 事例を公開した。	区立図書館ホームページで公 開するレファレンスサービス 事例を充実させ、インターネッ ト上への事例を公開する。
					図書文化 財課	国立国会図書館レファレンス協同 データベースに参加	国立国会図書館レファ レンス協同サービスに 参加し、事例を公開			—		
3-(2)-③	50	-	-	講座・講演会な どの実施	図書文化 財課	知識や情報を発信する場として、 講演会や講座の実施	各図書館の重点収集分 野に基づく講座等を実 施			—	講座等の実施によ り、多様な学びの機 会を提供できた。	引き続き、各館の重点収集分 野に基づく講座等を実施し、 多様な学びの機会を提供する 。
3-(2)-④	51	-	-	資料を活用した 展示の実施	図書文化 財課	新しい資料との出会い、学びや気 づきを得る機会として、資料を活 用した展示の実施	時期に応じた特集展示 を実施し、出会いや学 び等の機会の場を提供			—	特集を組むなど展 示を工夫して資料 の活用を図った。	図書館資料の告知など、見せ 方を工夫し、資料の活用を図 る。
3-(3)-①	52	-	-	図書館の魅力や 有用性を伝える 広報活動の強化	図書文化 財課	図書館の魅力や有用性を発信	みなと区民まつりに参 加し、港区電子図書館 のPRカードを配布し た。			—	区民まつり参加者 へ、図書館事業を PRした。	行事への参加を通して、図書 館の魅力を発信していく。
3-(3)-②	52	-	-	ICTの活用による 情報発信の充実	図書文化 財課	SNSを活用し、図書館への来館を促 進	港区役所LINE、X(図 書館及び教育推進部ア カウント)での情報発信			—	図書館での行事等 をSNSで発信し た。	広報活動を工夫し、利用のな かった区民の利用拡大を図 る。
4-(1)-①	53	-	-	学校図書館との 情報交換の促進	図書文化 財課	学校図書館運営の支援	学校図書館等資料展 示・選書会や、図書館事 業と連携した情報交換 の実施			—	学校図書館等資料 展示・選書会や、図 書館事業と連携し た情報交換を実施 した。	・学校の図書館資料の選書期 間を確保するため、展示・選 書会の開催時期を早める。 ・団体貸出や読書手帳の配布 等により、学校図書館の運営 を支援する。
4-(1)-③	54	-	-	授業カリキュラ ムに応じた支援 の実施	図書文化 財課	図書館の資料や人材を生かした授 業カリキュラムに応じた支援	読書感想文の書き方講 座や、職場体験の受け 入れ等を実施			—	読書感想文の書き 方講座や、職場体 験の受け入れ等 を実施した。	引き続き、授業カリキュラム に応じた支援を行う
4-(1)-④	54	-	-	障害に対応した 読書支援	図書文化 財課	デージー図書、点字図書、さわる 絵本等資料の充実	利用者のリクエストを受 け、専門事業者へ依頼 しタイトルの拡充			—	必要としている方 へ情報が行き渡る よう対応を検討	障害者懇談会による意見を踏 まえ、対応を検討

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	令和6年度の評価 と事業の課題	今後の取組
							令和6年度	令和7年度	令和8年度			
4-(2)-①	55	-	-	専門図書館・大学図書館とのネットワーク化の推進	図書文化財課	専門図書館・大学図書館との連携の推進	新規で4館の専門図書館が参加した。			—	港区専門図書館等連絡会の参加の呼びかけにより参加館が増加した。	・専門図書館の資料の活用や、紹介イベントを検討 ・図書館職員の専門図書館研修への参加を検討
4-(2)-②	55	-	-	幼稚園・保育園等の子ども関連施設等への支援	図書文化財課	団体貸出や選書の支援など読書環境づくりを支援	幼稚園全園を訪問し、絵本貸出定期便やブックスタート等の事業の周知			—	幼稚園への支援を強化し、施設と情報交換しながら、事業の周知を実施	幼稚園への訪問の継続及び保育園への訪問の拡充を検討
4-(2)-③	55	-	-	郷土歴史館・みなと科学館との連携事業の実施	図書文化財課	郷土歴史館・みなと科学館との連携	・郷土歴史館・みなと科学館と連携した講座や展示を実施 ・みなと科学館でおはなし会を開催			—	両館との連携を強化して情報交換を密にする。	引き続き、郷土歴史館・みなと科学館と連携した取組を行う。
4-(2)-④	55	-	-	地域活動との連携の推進	図書文化財課	地域に密着した図書館の運営	・図書館地域交流会実施 ・区民センター等との連携によるおはなし会などの事業の実施			—	各館の特色を活かした連携事業を実施	地域に密着した、各館の重点収集分野等と連動した事業を展開する。
4-(2)-⑤	56	-	-	大使館との連携事業の実施	図書文化財課	大使館等との連携した事業の実施	EU(駐日欧州連合)、シンガポールと連携した事業を実施			—	各国大使館との連携事業や展示を実施した。	引き続き、大使館と連携を行う。
4-(2)-⑥	56	-	-	企業等との連携の推進	図書文化財課	企業等と連携した講演会等の開催	・三田図書館主催で地域企業が参加する「田町・三田情報交換会」を開催 ・地域企業等と連携した講座等の事業を実施			—	図書館主催で企業等との情報交換会を実施し、参加企業との連携事業の実施につながった。	引き続き、地元企業等と連携した行事を実施する。
4-(3)-①	57	-	-	ボランティアの育成	図書文化財課	ボランティア育成や技術向上のための講座・講習会の実施	児童サービスボランティアを養成するための講座を実施			—	ボランティア育成のための講座を行った。	引き続き、ボランティアの技術向上のため、講座を実施していく。
4-(3)-②	57	-	-	区民の知識や能力を生かした図書館サービスの展開	図書文化財課	ボランティアによる図書館行事の実施	ボランティアの持つスキルを活用して、おはなし会等を実施			—	ボランティアの知識や能力を生かした図書館事業が実施できた。	引き続き、事業実施に際してボランティアを活用し、図書館行事を充実させる。